



明治5年から創立149年

浜っ子石田

学校の教育目標

☆向上心を持ち 高め合う子

① つも元気で やりぬく子

② んげんに考え くふうする子

③ れとも仲よく 助け合う子

遊具に込められた思い

校長 朝倉美音子

本校のグラウンドには、「ターザンロープ」と「ハイネット」という遊具が設置されています。学校の沿革（概要）には「平成15年にターザンロープ、ハイネット補修。平成20年にターザンロープ設置。平成25年にハイネット設置」とあります。「補修ということは、それ以前に設置されているはず…」と、各年度の学校沿革史を1冊ずつ調べていき、ようやく昭和52年度の沿革史に「7月19日 フィールドアスレチック完成式」という記述を見付けました。「子供たちが体力づくりに役立つ施設を設けてほしい」といった要望がかなえられ、PTAや教職員、児童（高学年）の労力奉仕により完成した」と続きます。今から約45年前に設置された遊具が基になり、現在に至っているようです。

4月より大休憩や昼休みに子供たちが楽しく利用していたターザンロープとハイネットですが、7月上旬に実施された遊具の安全点検により、残念なことに日本公園施設業協会の安全基準をクリアしていないということが分かりました。その安全基準は改定されるために見直されているそうなので、設置した当初は基準をクリアしていても、現在ではクリアできないこともあるそうです。そのため、ターザンロープとハイネットは当面の間、使用できないことになりました。



7月上旬に、平成22・23年度 校長として在職された村上正幸 先生とPTA役員として長くお世話になった中野欣弥 氏の来校がありました。話題の中心は、遊具への思いでした。村上先生は「このようなすばらしい遊具が設置してある小学校はなかなかない。現在はどうなっているのかが気になっていた」とお話をされました。中野氏からも、ハイネットが現在のような片側だけの設置になった経緯について、お話を聞くことができました。その当時のPTAの皆様の思いから、ハイネットの残り半分の完成に向けて、毎年予算に積立が計上されることになって、既に8年が経過しています。

今年度、石田小学校教育振興会では、ハイネットの残り半分の完成に向けて準備を進めています。コロナ禍にあり、外でのびのびと遊ぶ機会が減っている子供たちのためにも何とか実現したいと、現PTA役員の皆様や教職員の思いも1つになっています。

9月27日（月）から新型コロナウイルス感染症対策の警戒レベルが「ステージ2」に引き下げられますが、細心の注意を払いながら安全・安心な学校生活に努めていきたいと思っております。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

